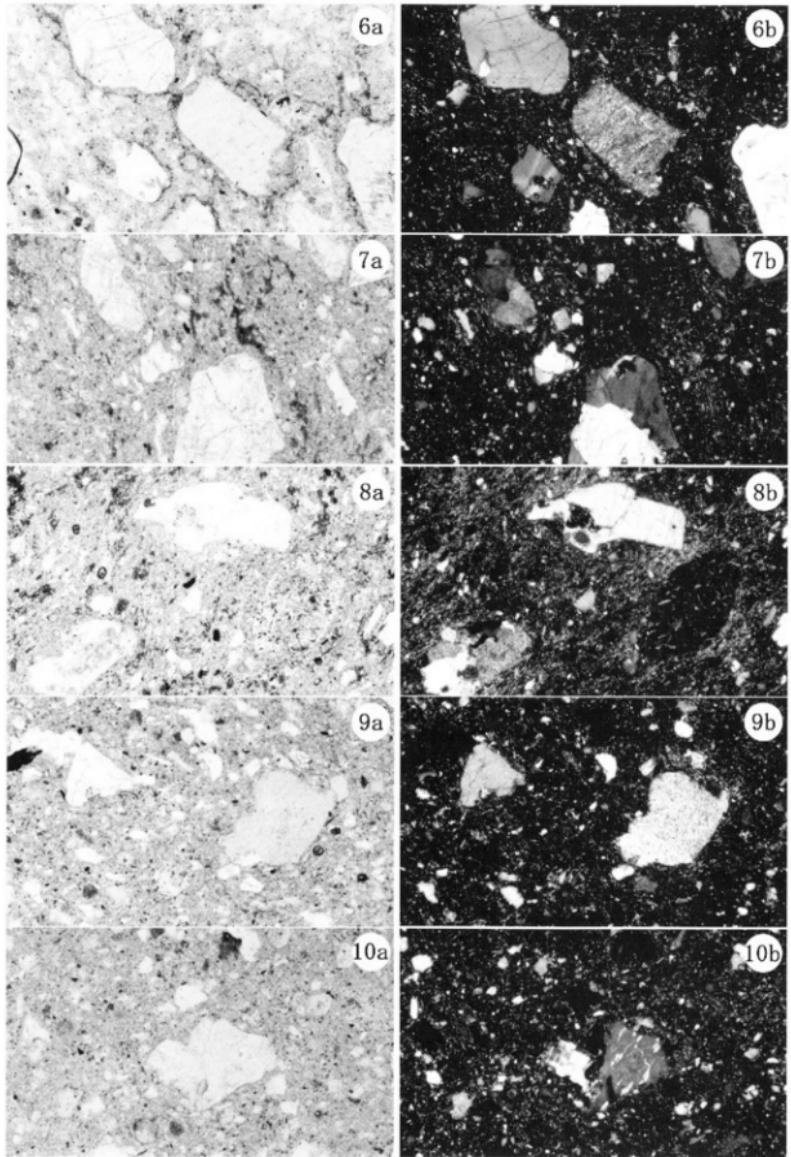
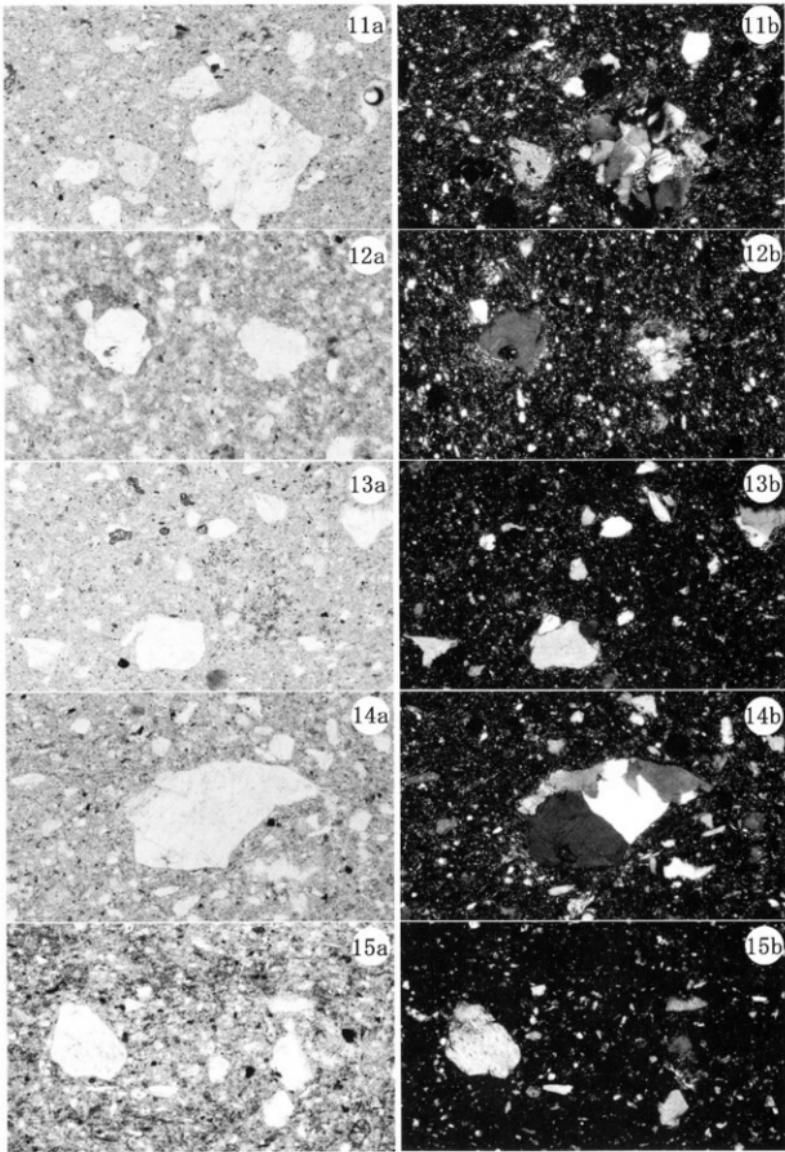


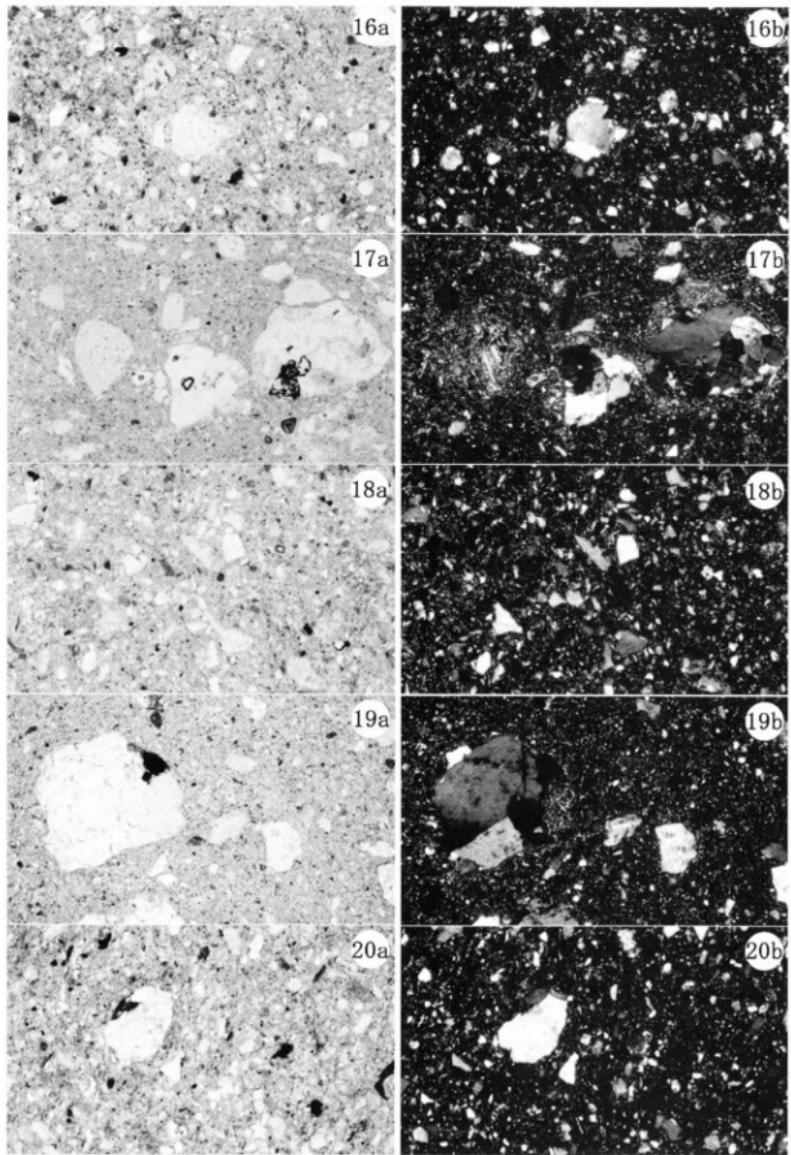
土器胎土の偏光顕微鏡写真（番号は試料No.に対応、a：開放ニコル、b：直交ニコル）



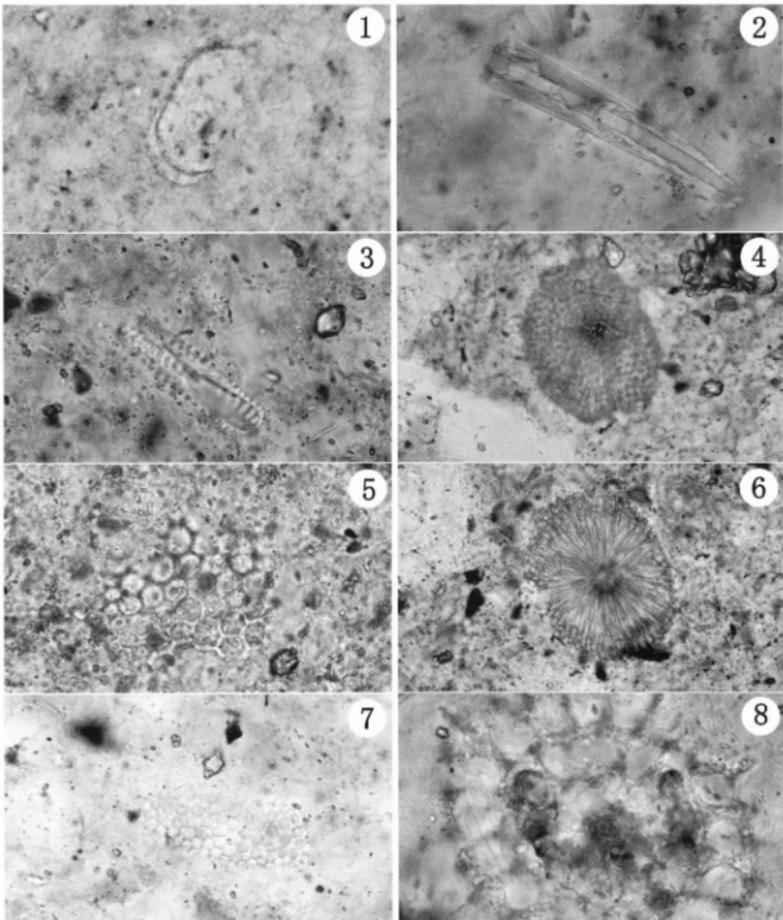
土師器胎土の偏光顕微鏡写真（番号は試料No.に対応、a：開放ニコル、b：直交ニコル）



土師器胎土の偏光顕微鏡写真（番号は試料No.に対応、a：開放ニコル、b：直交ニコル）

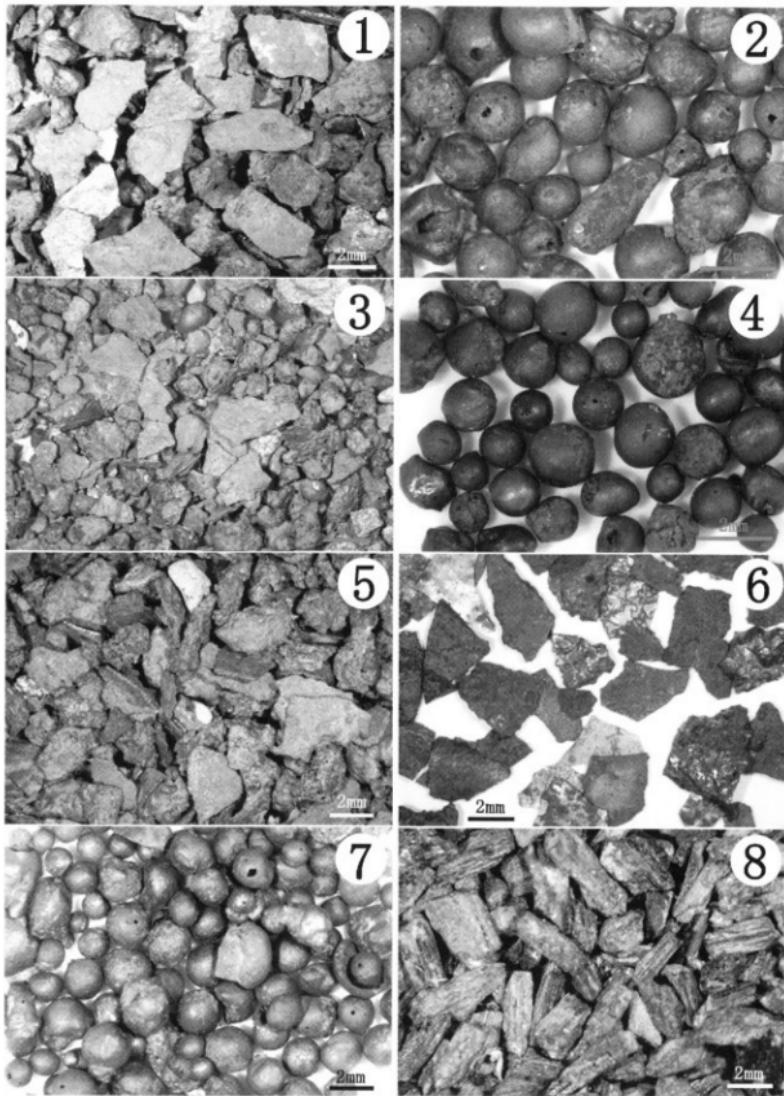


土師器胎土の偏光顕微鏡写真 (番号は試料No.に対応、a:開放ニコル、b:直交ニコル)



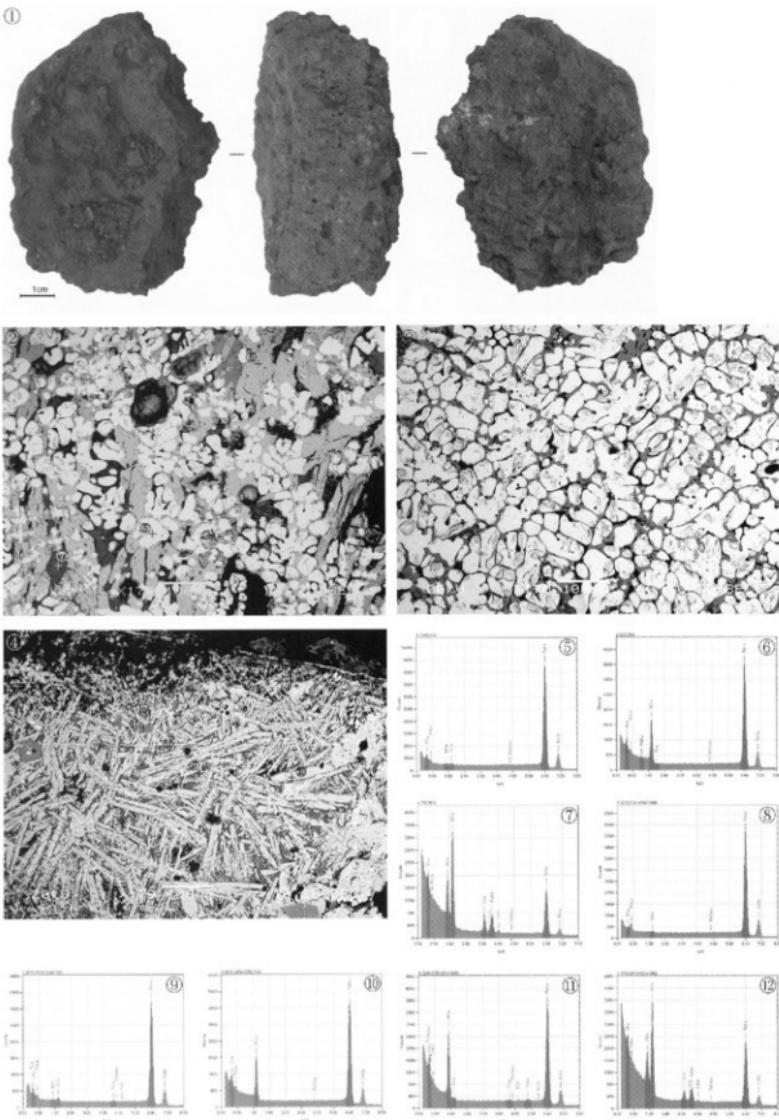
土師器胎土中の粒子顕微鏡写真

1. 植物珪藻体化石 No1. (50 $\mu$ m)
2. 骨針化石 No1. (20 $\mu$ m)
3. 珪藻化石 *Pinnularia borealis* No2. (20 $\mu$ m)
4. 放散虫化石 No10. (50 $\mu$ m)
5. 珪藻化石 *Coscinodiscus*属/*Thalassiosira*属 No11. (20 $\mu$ m)
6. 放散虫化石 No15. (50 $\mu$ m)
7. 珪藻化石 *Coscinodiscus*属/*Thalassiosira*属 No15. (20 $\mu$ m)
8. 放散虫化石 No18. (20 $\mu$ m)



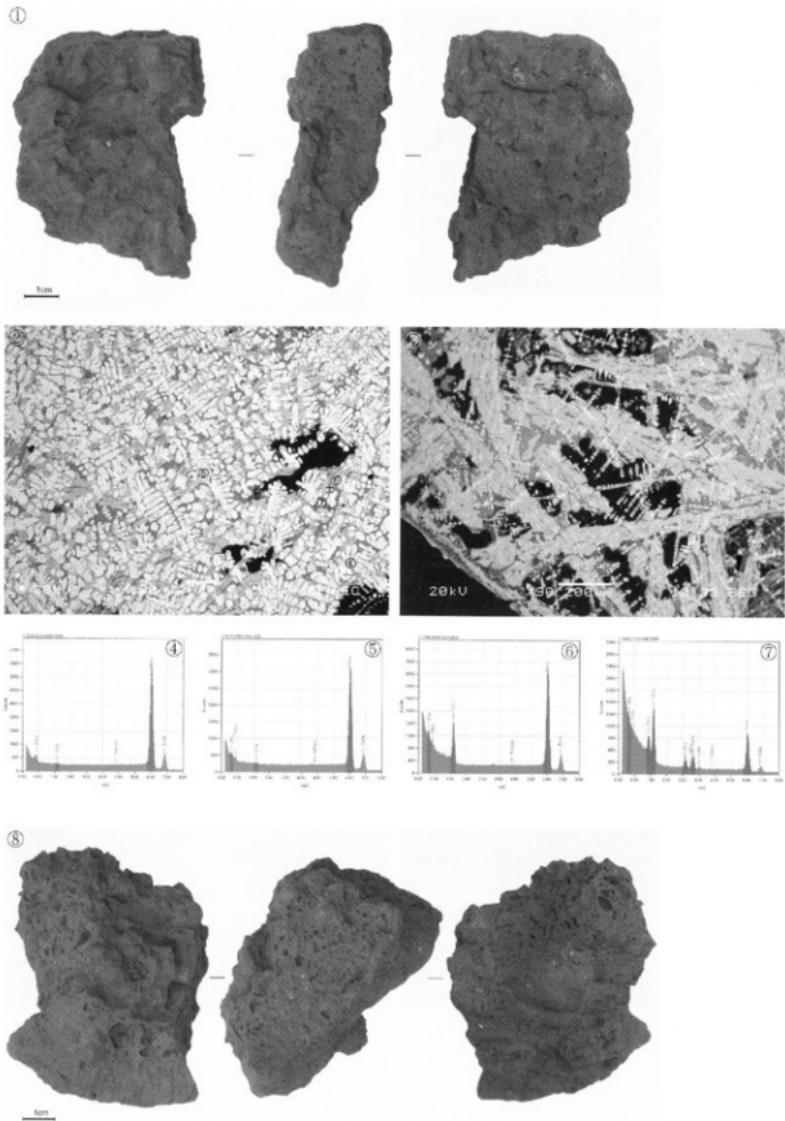
土坑内土壤中の微細物の実体顕微鏡写真

1. SK21の鉄造割片類およびコークス状滓 2. SK21の球状滓 3. SK22の鉄造割片類およびコークス状滓  
4. SK22の球状滓 5. SK23の鉄造割片類およびコークス状滓 6. SK23の板状滓 7. SK23の球状滓 8. 炭化材



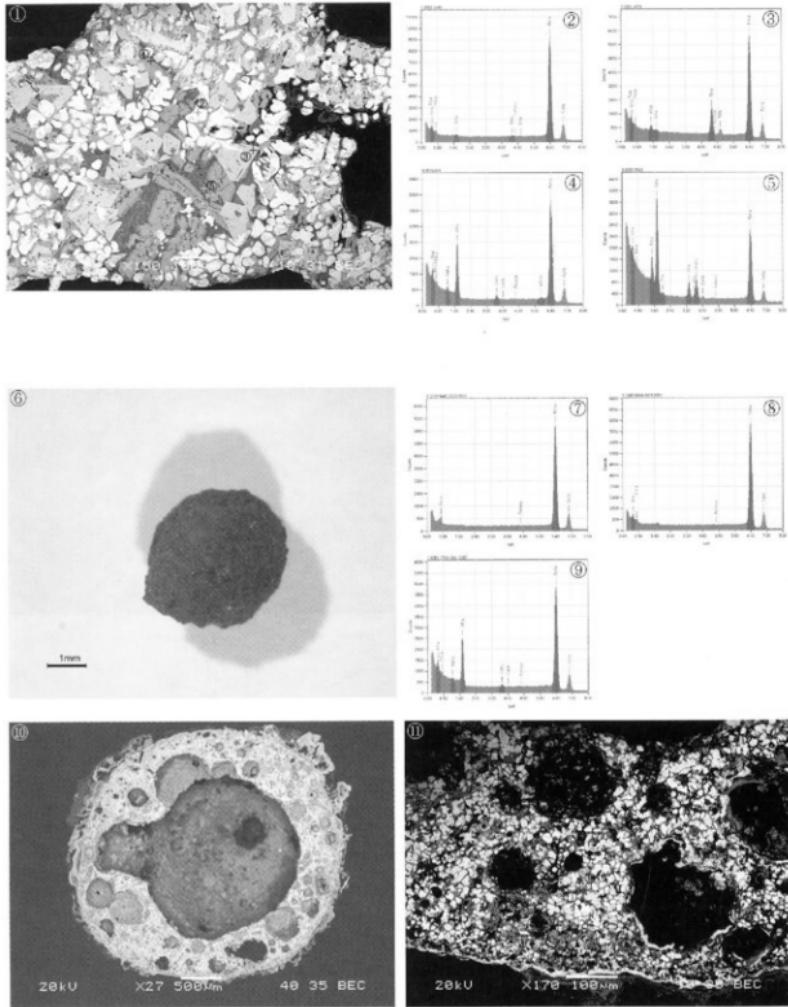
製鉄関連物写真・分析結果

試料No1 ① 全体像、②～④ SEM反射電子組成像いずれも  $\times 170$ 、⑤～⑫ ②・④ 十字点のEDSスペクトル図



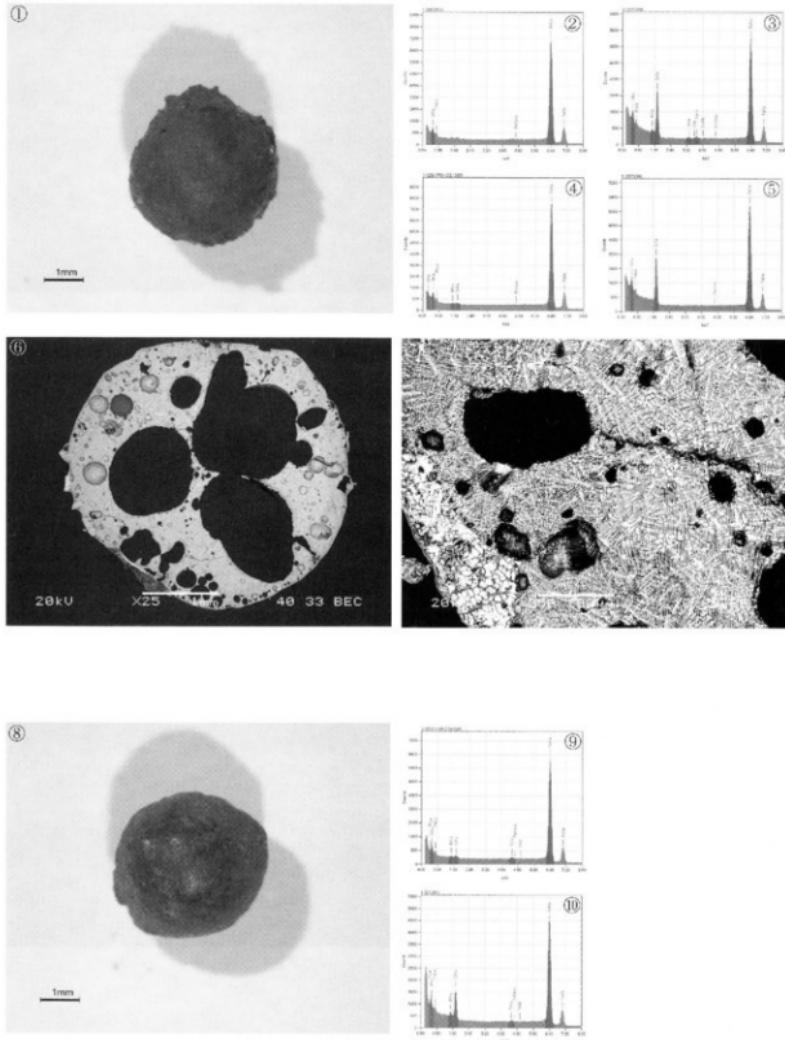
製鉄関連遺物写真・分析結果

試料No2 ① 全体像、②・③ SEM反射電子組成像 $\times 100$ ③ $\times 90$ 、④～⑦ ② 十字点のEDSスペクトル図  
試料No3 ⑧ 全体像



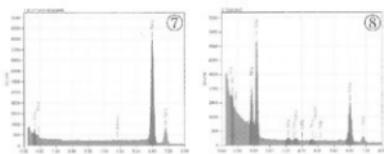
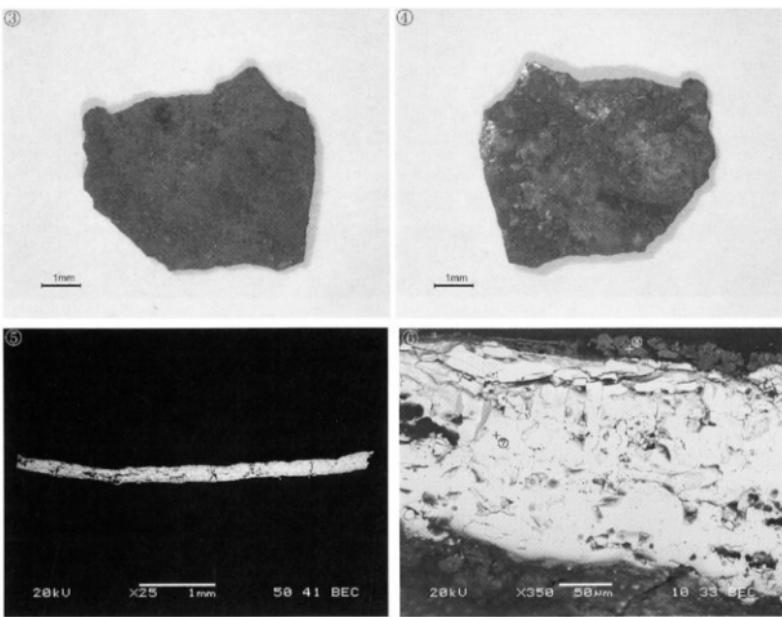
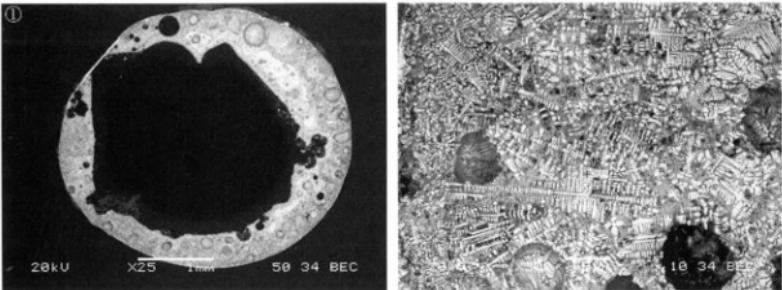
製鉄閃速写真・分析結果

試料No3 ① SEM反射電子組成像  $\times 150$ 、②～⑤ ① 十字点のEDSスペクトル図試料No4 ⑥ 全体像、⑦～⑨ ⑥ 十字点のEDSスペクトル、⑩・⑪ SEM反射電子組成像⑩ $\times 27$ ⑪ $\times 170$



製鉄関連遺物写真・分析結果

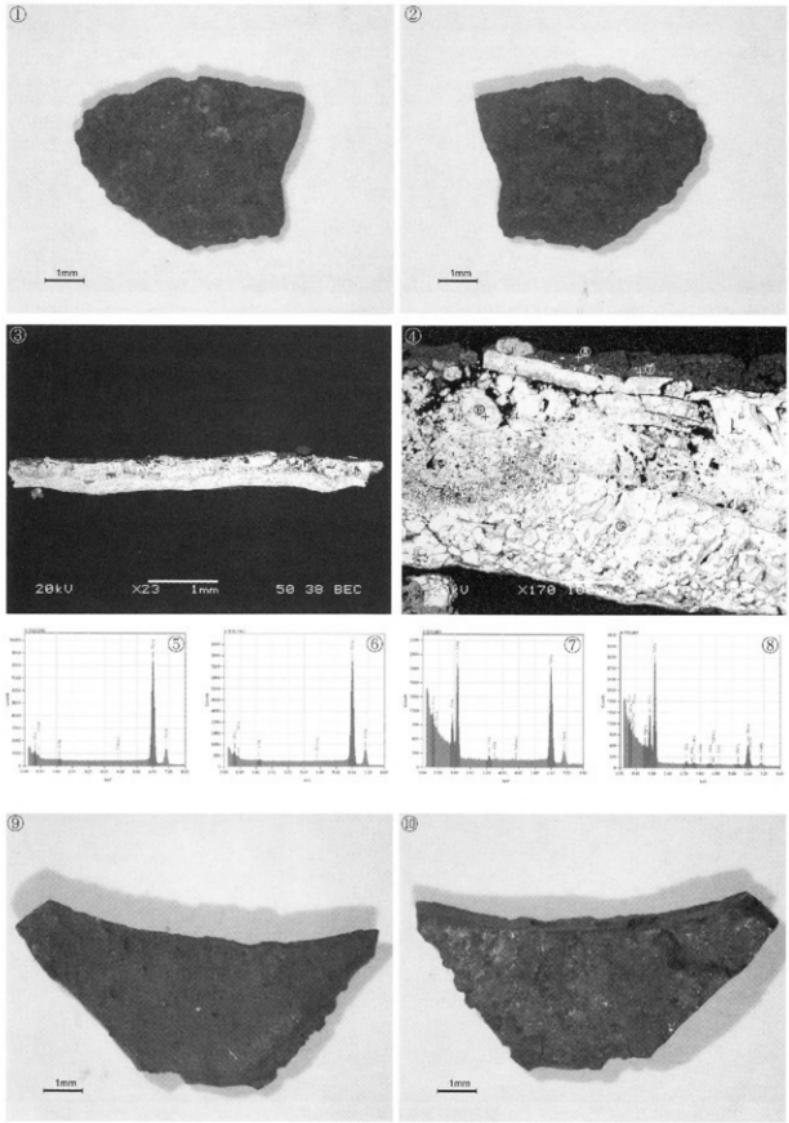
試料No5 ① 全体像、②～⑤ ① 十字点のEDSスペクトル図、⑥・⑦ SEM反射電子組成像(⑥)×25(⑦)×250  
試料No6 ⑧ 全体像、⑨・⑩ 図版52-②十字点のEDSスペクトル



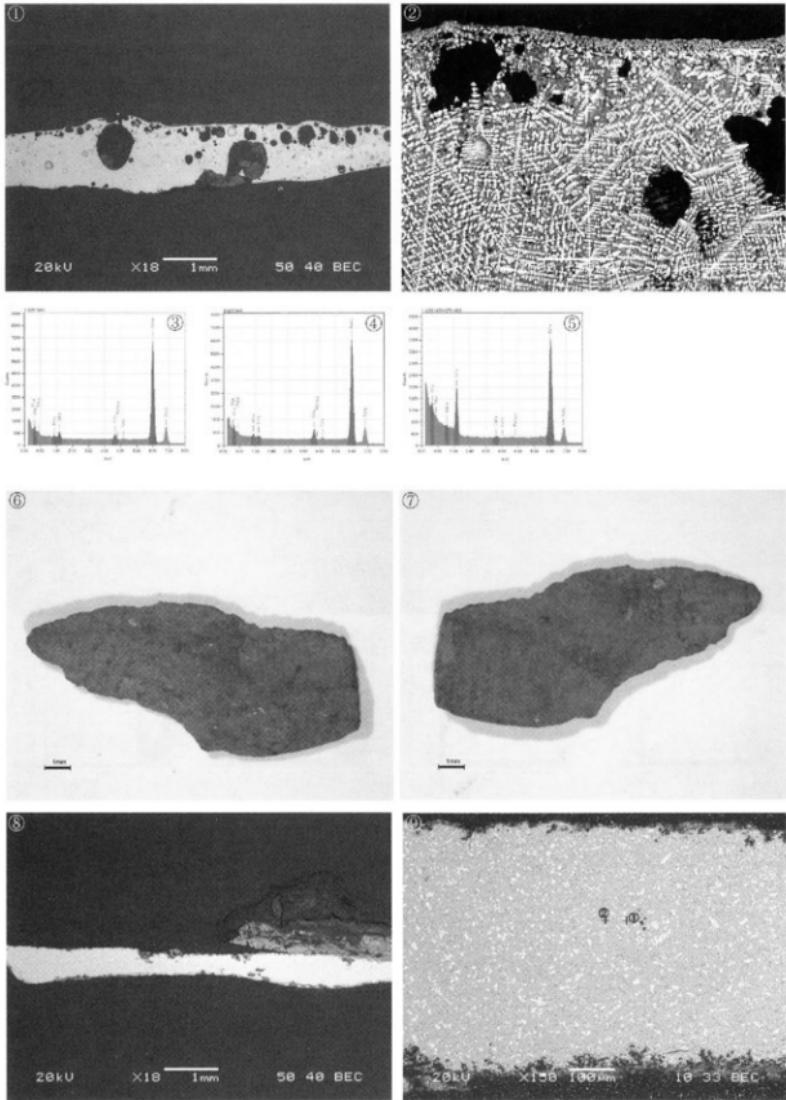
製鉄関連遺物写真・分析結果

試料No6 ①・② SEM反射電子組成像(①×25②×300

試料No7 ③・④ 全体像、⑤・⑥ SEM反射電子組成像⑤×25⑥×350、⑦・⑧ ⑥ 十字点のEDSスペクトル



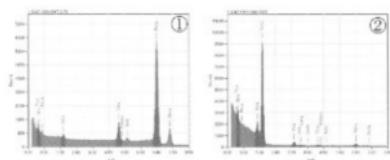
製鉄関連遺物写真・分析結果



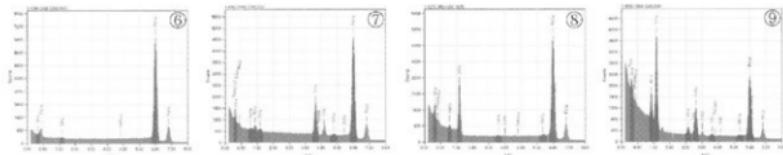
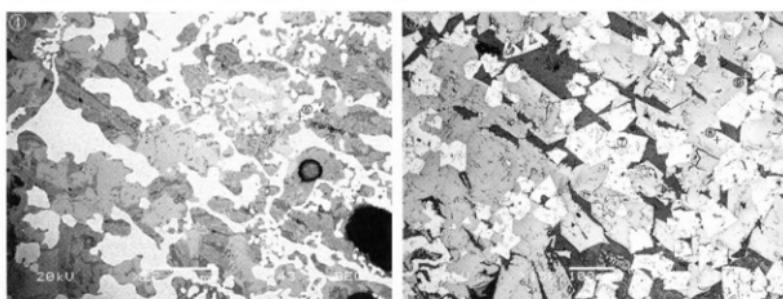
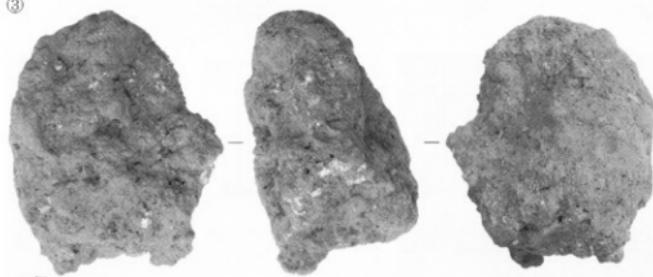
製鉄関連遺物写真・分析結果

試料Xo9 ①・② SEM反射電子顕微鏡像①×18②×500、③～⑤ ② 十字点のEDSスペクトル

試料Xo10 ⑥・⑦ 全体像、⑧・⑨ SEM反射電子顕微鏡像⑧×18⑨×150



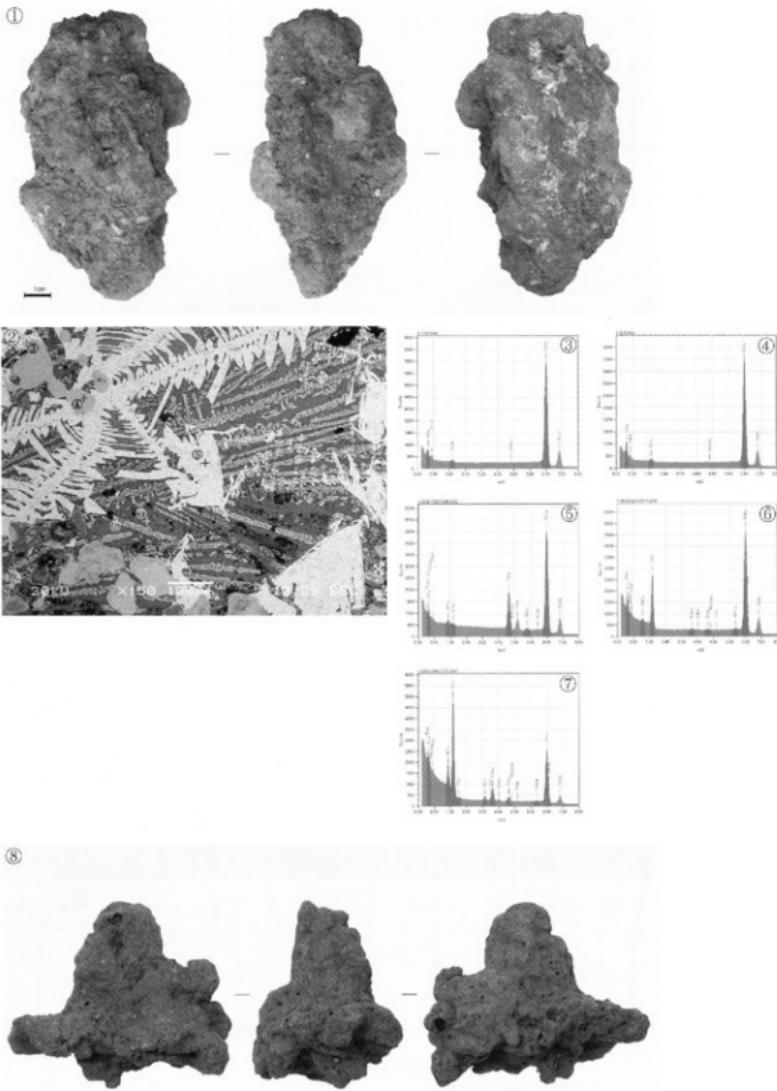
③



製鉄関連遺物写真・分析結果

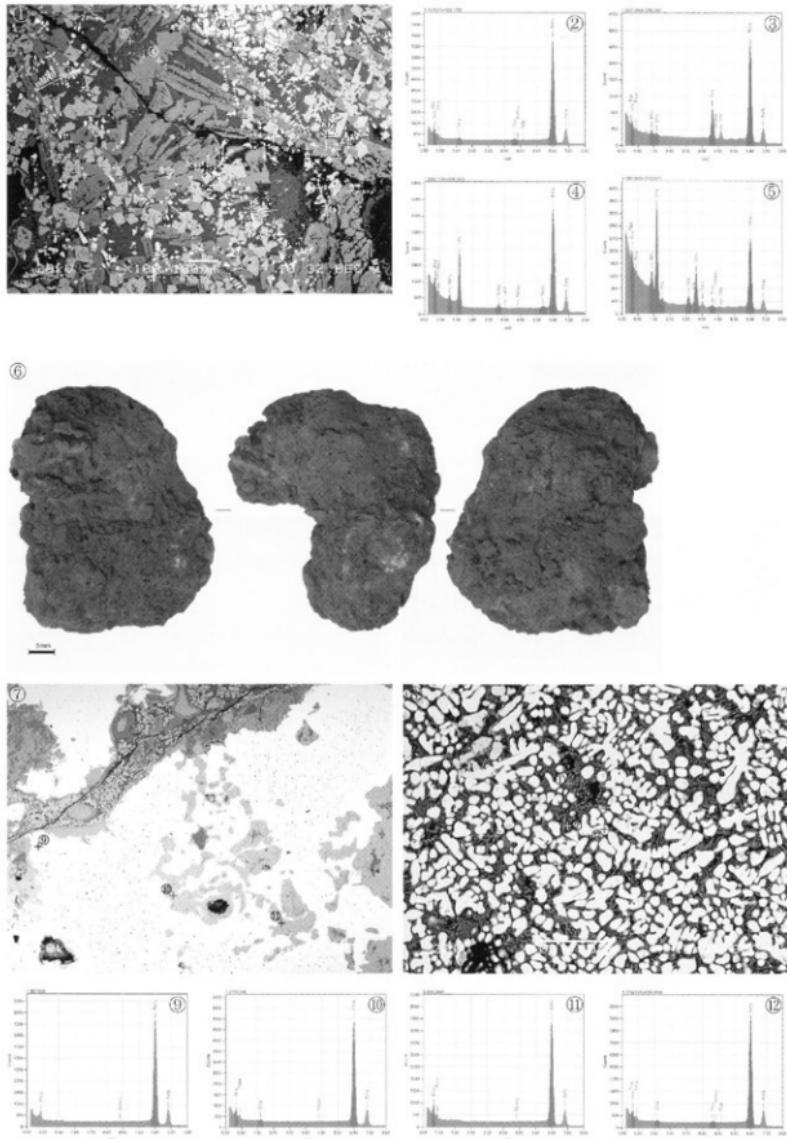
試料No10 ①・② 図版54-⑨十字点のEDSスペクトル

試料No11 ③ 全体像、④・⑤ SEM反射電子組成像④×22⑤×150、⑥～⑨ ④・⑤ 十字点のEDSスペクトル



製鉄関連遺物写真・分析結果

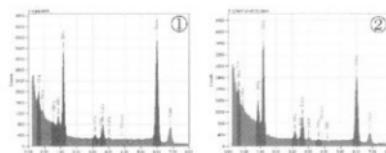
試料No12 ① 全体像、② SEM反射電子組成像 ×150、③～⑦ ② 十字点のEDSスペクトル  
試料No13 ⑧ 全体像



製鉄関連遺物写真・分析結果

試料No13 ① SEM反射電子組成像 ×100、②～⑤ ① 十字点のEDSスペクトル

試料No14 ⑥ 全体像、⑦・⑧ SEM反射電子組成像⑦×150⑧×500、⑨～⑫ ⑦・⑧ 十字点のEDSスペクトル



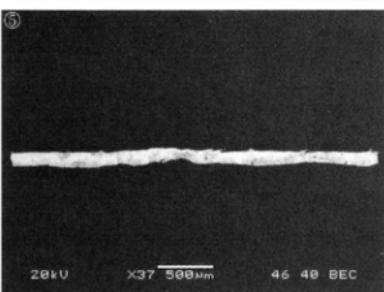
③



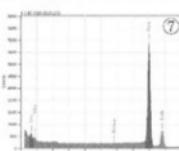
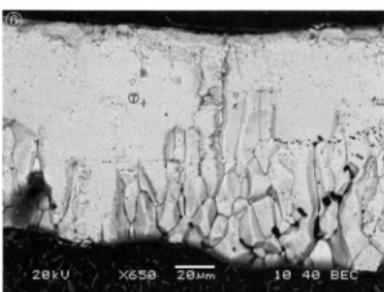
④



⑤



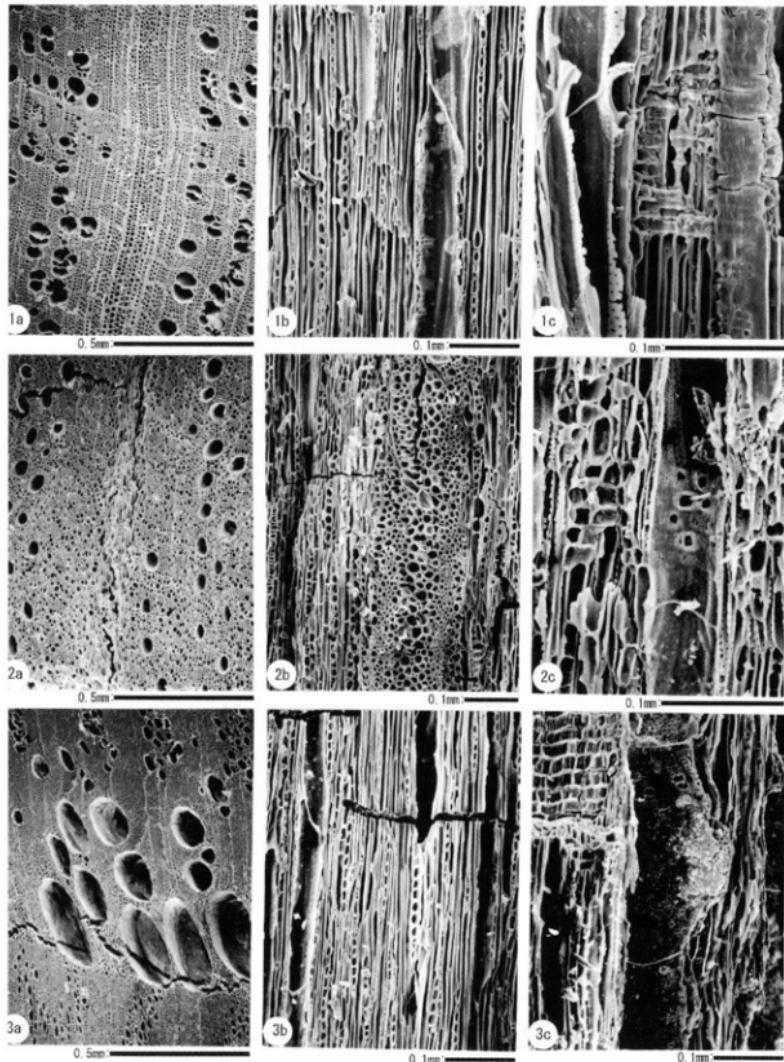
⑥



#### 製鉄関連遺物写真・分析結果

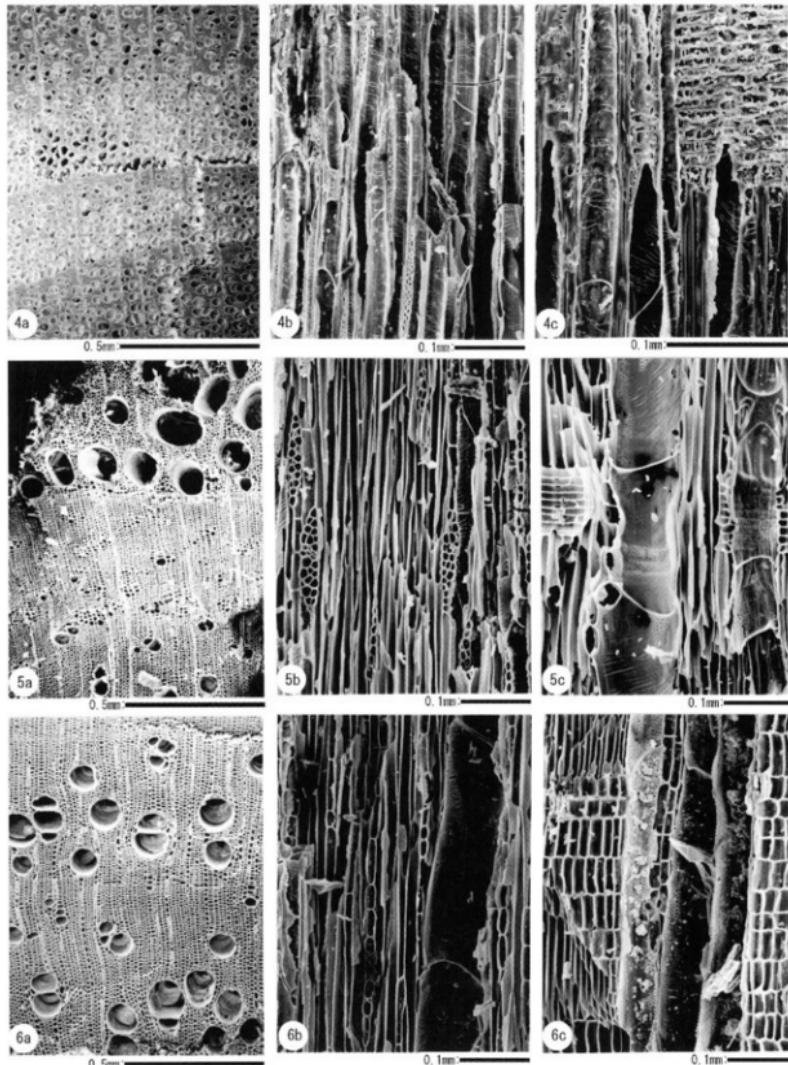
試料No14 ①・② 図版57-⑧十字点のEDSスペクトル

試料No15 ③・④ 全体像、⑤・⑥ SEM反射電子組成像⑤×37⑥×650、⑦ ⑥ 十字点のEDSスペクトル



向野池遺跡出土炭化材の材組織の走査電子顕微鏡写真

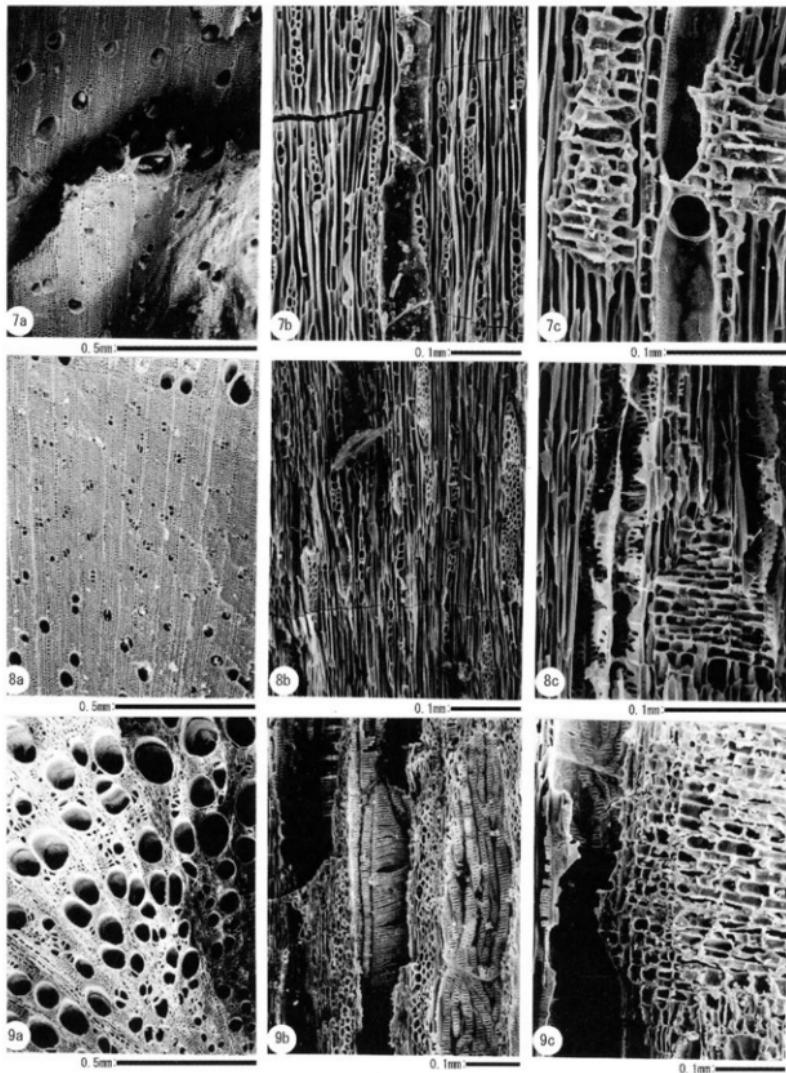
1a-1c: イヌシデ節 (SB06 P3) 2a-2c: アカガシ亜属 (SK21 北西) 3a-3c: クリ (SK23 南西)  
a: 横断面 b: 縦断面 c: 放射断面



向野池遺跡出土炭化材の材組織の走査電子顕微鏡写真

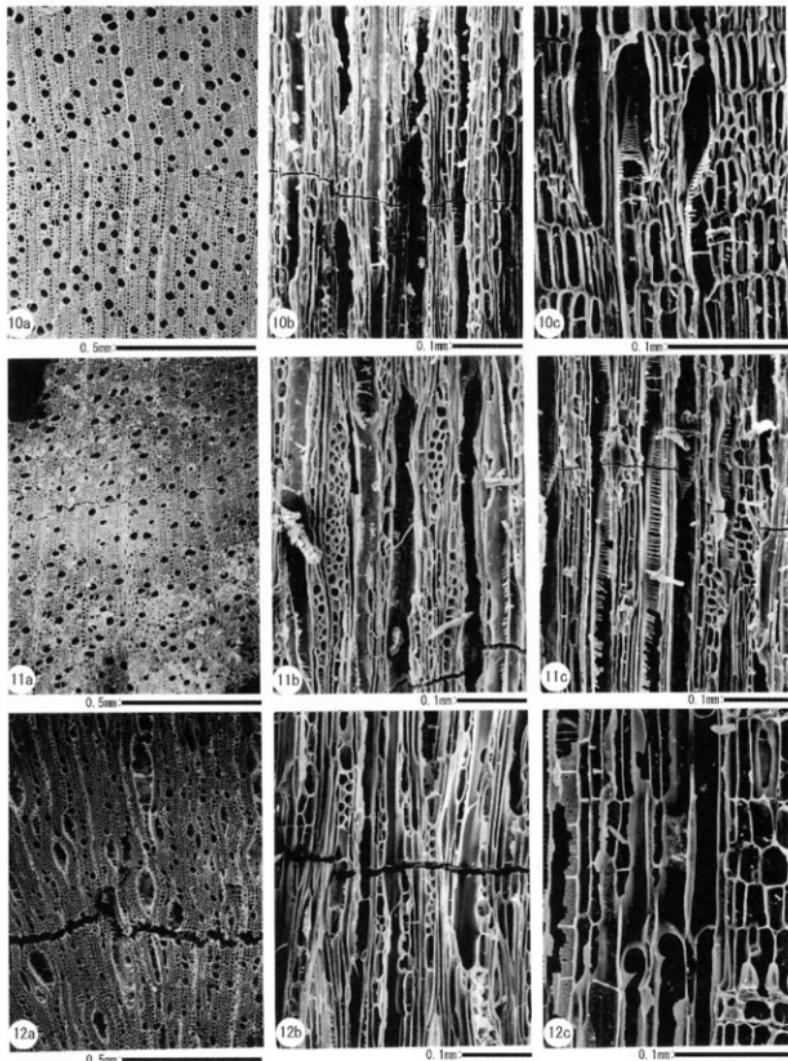
4a-4c: サクラ節 (SK22 南西) 5a-5c: キハダ (SK23 底面直上) 6a-6c: アカメガシワ (SK21 北西)

a: 横断面 b: 接線断面 c: 放射断面



向野池遺跡出土炭化材の材組織の走査電子顕微鏡写真

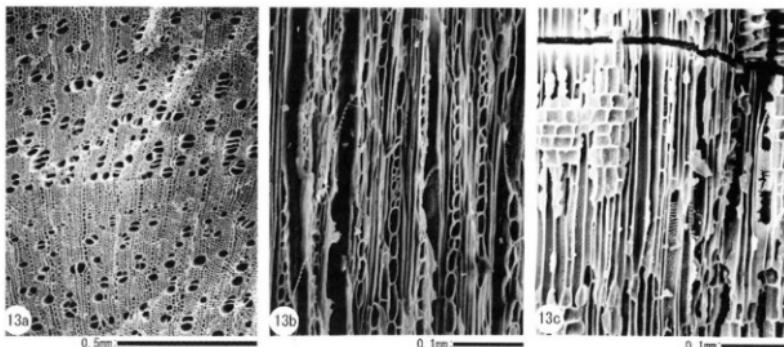
7a-7c: ヤマウルシ (SK22 南西) 8a-8c: ヌルデ (SK32 一括)  
a: 横断面 b: 接線断面 c: 放射断面



向野池遺跡出土炭化材の材組織の走査電子顕微鏡写真

10a-10c: ミズキ属 (SK22 北西) 11a-11c: リョウブ (SK32-4) 12a-12c: ツツジ科 (SK32 一括)

a: 横断面 b: 接触断面 c: 放射断面



向野池遺跡出土炭化材の材組織の走査電子顕微鏡写真

13a-13c: エゴノキ属 (SK32-3)

a: 横断面 b: 接線断面 c: 放射断面

報告書抄録

ふりがな	とやまし むかいのいけいせき はっくつちょうさほうこくしょ						
書名	富山市 向野池遺跡 発掘調査報告書						
調書名							
卷次							
シリーズ名	富山市埋蔵文化財調査報告						
シリーズ番号	18						
編著者名	折原洋一 大橋忠昭 岩崎善尋						
編集機関	富山市教育委員会 埋蔵文化財センター 有限会社 山武考古学研究所						
所在地	〒930-0091 富山県富山市愛宕町一丁目2-24 TEL076-442-4246 〒286-0045 千葉県成田市並木町221番 TEL0476-24-0536						
発行年月日	西暦2006年12月28日						
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村名	北緯 遺跡番号	東経 ° ′ ″	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
向野池遺跡	富山県富山市境野新外	16362	201464	36° 40' 41"	137° 7' 51"	20060509 ~ 20060810	6,104 m <sup>2</sup> 企業用地造成

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
向野池遺跡	集落跡	縄文時代	堅穴住居 落とし穴状土坑	1 5	縄文土器、石器、 珠入耳飾
		弥生時代	堅穴住居	2	弥生土器、石器
	生産址	古代	掘立柱建物 炉 井戸 土坑 焼壁土坑	8 1 1 6 21	須恵器、土師器、 墨書き器、転用硯、 羽口、土鍤、鐵滓、硫 状滓、球状滓、鐵造 鉄片
要約	縄文時代では前期から後期にかけての遺物、縄文土器を伴う堅穴住居1軒、詳細な時期不明の落とし穴状土坑5基が検出されている。縄文土器の中には爪形文が併施された例が見られる。弥生時代では天王山系上器と重複する堅穴住居2軒が検出されている。古代では9世紀後半~10世紀中頃にかけての掘立柱建物群・鍛冶炉・井戸・土坑、7世紀~11世紀にかけての焼壁土坑群が検出されている。掘立柱建物は8棟存在し、内7棟は調査区の東南部に集中している。東南部の掘立柱建物群は3期に分かれ、大型の建物を含んでおり、鍛冶炉や2002年度調査区から検出された土師器施成窯に関連する工房と考えられ、郡が經營する雜器所と推測される。				

富山市埋蔵文化財調査報告18

**富山市向野池遺跡**

—貝羽南部企業団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—

2006（平成18）年12月28日発行

発行 富山市教育委員会

編集 富山市教育委員会埋蔵文化財センター

〒930-0091 富山市愛宕町一丁目2-24

Tel 076-442-4246

Fax 076-442-5810

E-mail : maizoubunka-01@city.toyamalg.jp

印刷 株式会社 東 ブ リ

